

公告 昭 32.4.27 出願 昭 30.2.7 実願 昭 30—4612

出願人 考案者 栗 林 敏 夫 東京都足立区梅島町1

(全 2 頁)

プロンター型シャッターのボデーシャッター装置

図 面 の 略 解

第1図は本考案に必要な部分のみを示した斜断面図、第2図は本考案の装置を装備せるカメラの鏡筒匣体を一部破断せる斜断面図。

実 用 新 案 の 説 明

本案の構造は図に示せる如くプロンター型式の直進ヘリコイド機構カメラに於てリリースレバー芯棒、1はシャッターケース2及び地板3を貫挿し地板3に枢着されたるリリースレバー4と固着し、他端は中間リング5面上に設けたる角孔6の押圧面7に常時接触している。

中間リング5は鏡筒匣体内8に収納され発条9により光軸を中心として時計方向に蓄力され其の円周上に曲折片10を設ける。

馬蹄型レバー11は匣体内12に収納され、一端は匣体前面カバー13内側に枢着され、他端は発条14で時計方向に蓄力され案内孔15に依り定位置に止められ、リリース軸16下端と接触せしむべき位置に曲折片17を設け又匣体前面カバー13の透溝18を貫通し中間リング曲折片10上端と接触すべき位置に芯棒19を植設す。今リリース軸16で馬蹄型レバー曲折片17を押進する事に依り馬蹄型レバー11は固着したる一端を中心とし廻動し芯棒19に依り中間リング曲折片10を押圧し中間リング5は光軸を

中心として廻動し角孔6の押圧面7の接触摺動で次第に押し下げられる為リリースレバー芯棒1の一端に固着せるリリースレバー4が作用しシャッターはリリースされる。

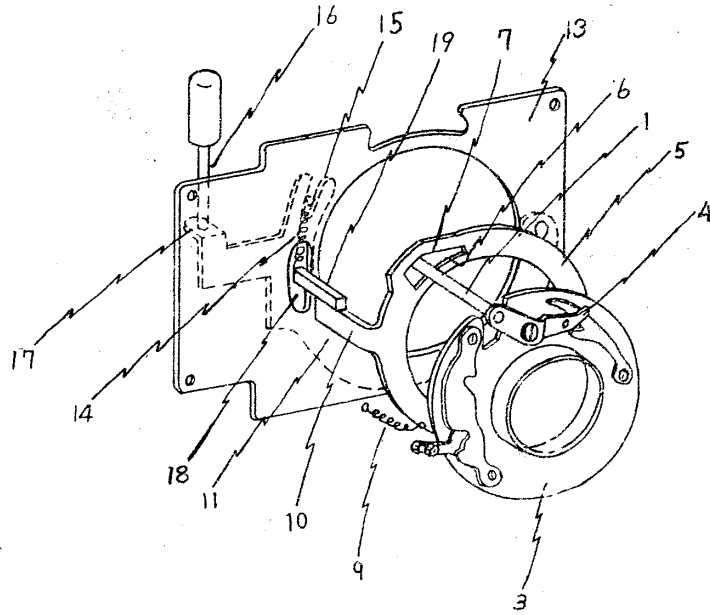
リリース後は発条9,14に依り元の位置に復帰す。

本実用新案は上記した様に構成され、その効果は如何なる焦点調型の状態即ちシャッターの前後進に際してもその目的を達せんとするにシャッターの置かれた位置に何等制限を加えずして行う事が出来、直進ヘリコイド機構を持つカメラに於て秀れた効果があり、又ボデーシャッターの移動を伝達するレバーを外部に露出させる事は外観悪く且つ部品を損傷する恐れあるも、本案に於ては鏡筒匣体内に収納してあり、機構部品が簡単なる為大量生産が出来る特徴を有するものである。

登 録 請 求 の 範 囲

図面に示す様にボデーシャッター装置に於て鏡筒匣体8内の中間リング5に角孔6及びその円周上に曲折片10を設け角孔6にはリリースレバー芯棒1を、曲折片10にはリリース軸16に接触する馬蹄型レバー11に植設された芯棒19を接触せしめて成るプロンター型式の直進ヘリコイド機構カメラのボデーシャッター装置の構造。

第1圖



第2圖

